

これからの医療を支える看護師の特定行為研修
シンポジウムin大阪

地域を支える病院における 特定行為研修修了者の活動

大阪府済生会吹田病院
副看護部長
皮膚・排泄ケア認定看護師
間宮直子

2018年2月28日（水）



大阪府済生会吹田病院

病床数 : 500床 (一般)
(ICU6床, NICU6床, GCU 10床)

診療科目 : 28科目

職員数 : 約1,150名
(看護部職員約660名)

看護配置 : 7:1

専門看護師1名・認定看護師14名 (10領域)



平均在院日数 : 11.6日
平均外来数 : 1,012人/日
(2016年度)

特徴 :

大阪府がん診療拠点病院指定,
地域医療支援病院承認,
DPC対象病院,

日本医療機能評価機構認定

3rd G: ver1.1

ISO 9001/2008年度版認証,

卒後臨床研修評価機構認定,

エコアクション21 認証,

人間ドック健診施設機能評価認定

関連施設 :

特別養護老人ホーム 2,

訪問看護ステーション 2,

肢体不自由児通園施設 1,

皮膚・排泄ケアCN (WOCN) の活動

フットケア回診
(週1回)



フットケア外来
(週1回)



特別養護老人ホーム
訪問フットケア
(2~3回/月)



褥瘡回診 (週1回)



在宅褥瘡訪問 (適宜)



高齢者施設等の
退院後訪問 (適宜)



皮膚科外来：
褥瘡外来 (適宜)

ストーマ外来
(2~3回/月)

相談

院内外教育

処置参加
(適宜)

特定行為実践までの経緯

2012年3月5日 特定看護師(仮称)養成 試行事業 実施課程修了

2014年6月18日



参議院本会議で
可決・成立だよ～

特定行為に係る研修、ナースセンターへの届け出 制度化へ 医療介護総合確保推進法が成立

6月18日、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（医療介護総合確保推進法）」が参議院本会議で可決、成立した。

同法には2013年8月に取りまとめられた社会保障制度改革国民会議の報告書を基にした「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（プログラム法）」の中身を実行に移す内容が盛り込まれている。①病床機能分化・連携②在宅医療の充実・地域包括ケアシステムの構築③医療従事者の確保④チーム医療の推進、が柱となる。



看護関連の主要項目

- 特定行為に係る研修制度の主な内容
- ①特定行為の明確化
診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合には、実務的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるもの（特定行為）を厚生労働省令で定める。
 - ②手順書により特定行為を行う看護師への研修の義務化
 - 特定行為に係る看護師の研修制度
医師の判断を待たずに、手順書により一定の診療の補助を行うことができる看護師を育成する制度。慢性疾患や複数の疾患

える看護師を育成するための制度であり、在宅医療の推進に寄与することも期待されている。

■ナースセンターへの届け出制度

国の推計では、団塊世代の全ての人が75歳を迎える2025年には、現在より50万人多い200万人の看護職が必要とされる。人材確保が急がれる中、離職者のスムーズな復職に向け、離職時などにおける都道府県ナースセンターへの届け出が努力義務となった（「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正）。これにより、届け出先となるナースセンターも、業務やシステムの見直しが求められる。

■病床機能報告制度

地域医療構想（ビジョン）の策定に向けて、その地域にふさわしいバランスの取れた医療機能の分化と連携を進めるために、医療機関（病院・有床診療所）の病床（一般・療養）が担っている機能を、病床単位で都道府県に報告する制度。医療機能は「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の4区分。
日本看護協会は、この医療法改正と診療報酬改定の政策によ



号外だよ～

保助看法改正による
「看護師の特定行為
の研修制度」は
2015年10月に
施行されるよ～

2016年3月7日 日本看護協会 特定行為研修修了

特定行為 及び特定行為区分 (38行為21区分)

特定行為区分	特定行為
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
	人工呼吸器からの離脱
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換
循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理
	一時的ペースメーカーリードの抜去
	経皮的心肺補助装置の操作及び管理
	大動脈内バルーンポンピングからの離脱を行うときの補助頻度の調整
心嚢ドレーン管理関連	心嚢ドレーンの抜去
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更
	胸腔ドレーンの抜去
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
	膀胱ろうカテーテルの交換
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入(PICCカテーテル)

特定行為区分	特定行為
創傷管理関連	褥(じよく)瘡(そう)又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	創傷に対する陰圧閉鎖療法
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
	橈骨動脈ラインの確保
透析管理関連	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	脱水症状に対する輸液による補正
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与
	抗精神病薬の臨時的投与
	抗不安薬の臨時的投与
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整

なぜ、特定行為研修を受けたのか

間宮直子さん(大阪府)

協会ニュース2016年10月号 連載:在宅療養を支える新しい風

特定行為研修修了看護師 活動レポート 第2回

タイムリーなケアの提供

重症化予防・治癒促進

吹田市南部にある吹田病院は1945年の開設以来、地域に根差した医療の提供を続け、2009年には地域医療支援病院の承認を受けるなど、地域医療の中核的な役割を果たしている。

在宅場面で感じたもどかしさ

同院の間宮直子さんは副看護部長として14人の認定看護師(CN)を統括し、看護の質の向上を推進させる管理職である一方、自身も院内初のCNとして04年に皮膚・排泄ケアCNとなり、組織横断的に活動してきた。チーム医療の推進役やCNの活動の幅を広げる役割も果たしている。

しかし、CNとして活動する中では、医師の処置を待たなければいけない場面も多く、患者さんの状態に応じた処置やケアを適切なタイミングで行うことができないもどかしさを感じていた。08年から行っている訪問看護師との同行訪問では、そのようなジレンマを感じることが多かった。利用者は重度の多発性褥瘡(じょくそう)を抱えている人が多く、通院が大きな負担となる。そのため、家族が疲弊していたり、在宅療養の継続を断念する事例や、医師が抱える悩みを知った。「在宅療養を支える上で、病院所属のCNが返る。

在宅現場で創傷の重症化を予防

こうした問題を意識していた時期に「特定看護師(仮称)養成調査」の提供につなげたいと、看護部長や病院の支援を受け、2012年、創傷管理領域(4区分)を修了した。「CNの専門性に医学的判断力

間宮直子さん
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院



時代は
「新しい風」を
必要としている…



医療機関で発揮する専門性は、
いずれ、地域でも発揮するべき
ときがくるのではないかと…

実感。以前は快適な療養環境の整備や再発予防が中心だったが、修了後は医学的な視点が増え、スタッフへの指導も幅が広

地域での家族介護基盤の多様化・複雑化



75歳男性 腰部褥瘡
独居高齢者

家族基盤が
弱体化しても
在宅へとシフト
していく
時代がきている



90歳女性
静脈性うっ滞潰瘍

独居高齢者



100歳女性

老老介護 (介護者・息子)



超高齢社会

(認認介護)



介護者
妻80代

高齢者世帯 (老老介護)

CASE 1: 訪問看護師と一緒に創傷をみる



70代男性 糖尿病性足底潰瘍
既往：心不全 静脈機能不全症



5年前より足底潰瘍の
軽快悪化を繰り返す

3年前 右第1趾切断

2年前 右第2趾切断

足底潰瘍で介入してから
訪問看護の事業所は2度変更

CASE1: 早期発見・早期対処と重症化予防



在宅で悪化発見
早期対処



医療機関で創傷を
見るナースが
地域医療者と一緒に
創傷を見ること…

特定行為研修修了者
の在宅訪問…

効果的だろう



特定行為研修修了者として『在宅』に出向く



訪問看護師と家族に褥瘡ケア説明



糖尿病性足潰瘍のケア



重症褥瘡の褥瘡ケア

WOCNと訪問看護師が真皮を超える褥瘡保有の療養者を同一日訪問した場合
…在宅患者訪問看護・指導料3のハ **1285点** 算定可能(1回/月)

特定行為研修修了者として『高齢者施設』に出向く

特養A

施設Ns

WOCN

薬剤師

医師

理学療法士

施設看護師・多職種と褥瘡ケア



施設看護師と褥瘡ケア

特養B



CASE2: 特養とのつながりが奏功した褥瘡



外来受診1回/月

当院からの施設訪問1回/2週



右背部褥瘡3.7×5.3cm



特定行為 & 一緒に実践 & 根拠など説明

80代 脳梗塞後
既往：2型糖尿病
特別養護老人ホーム入所中

背部重症褥瘡の経過



一緒にポジショニング
適宜デブリードマン施行 外用薬変更

治癒



愛犬と一緒に生活を続けてもらうために

well-being...

その人らしく生きるということ



これも*well-being*です

心配です

在宅



地域医療≡医療を受けながら疾病とともに生活が送れる

看護師が特定行為をする意味

在宅療養者（家族）の計り知れない思い

今、何が地域で起こっているか“知る”

“自ら解決する力”を身につける

今、何をすべきか“判断”する

看護師の特定行為

看護の関わりの中で *well-being* を
支援するための“手段”

地域包括ケアシステムを推進できるか

特定行為は



Yes!

悪化予防

創傷改善

もっと推進するには（課題）



背中をみせよう!

- ◆ 安全で安心な特定行為の実践
- ◆ 看護・介護等との連携を拡げる



つながろう!

特定行為制度を知ってもらい、理解を得る

ご清聴ありがとうございました